

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	水田宮農係
■評価事業名称	農産物の害虫駆除及び植物防疫事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	050200 - 304	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	01 農業の生産性向上	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	水稲、畑作物、果樹の防除計画作成、実績検討などによる農産物の生産力の向上を図る。農産物の害虫駆除、植物防疫に係る活動の実施		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	農産物の害虫駆除及び植物防疫事業	県病害虫防除所	・水稲病害虫防除計画報告1回 ・水稲病害虫防除実績報告2回 ・岩手中部病害虫防除協議会総会1回、幹事会3回	○水稲病害虫防除計画策定 ○病害虫防除員の推薦 ○岩手中部病害虫防除協議会総会(5/10)1回、幹事会(8/9、12/21、3/27)3回 ○農業適正販売、使用研修会(6/20) ○水稲防除剤散布と蜜蜂への危被害防止会議(7/7) ○水稲病害虫防除実績報告2回7/28、/9/29 ○蜜蜂への被害防止 ・HP掲載(6/14発行、7/28発行) ○農業適正使用の注意喚起 ・支援ニュース掲載(6/28発行) ・HP掲載(7/13、8/16、10/4) ・広報掲載(8/10発行)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	3	1	1	3	
人件費	402	74	150	458	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	405	75	151	461	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	水稲イモチ発生圃場率(%)	資料未達	資料未達	葉いもち20%、 穂いもち0%	葉いもち50%、 穂いもち35%	防除事業年報の北上地域より少と微の合計
	実績検討会開催回数	2	2	2	2	実績検討会開催回数
	水稲病害虫防除活動実績報告回数	2	2	2	2	水稲病害虫防除活動実績報告回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

8月の低温日照不足により病害虫の発生件数が例年より多かったが、水稲病害虫防除計画により、適正な防除に努めた結果、被害を最小限に抑えることができた。

問題点・課題等

気象状況により、地域毎に防除時期や回数が異なるが、毎年のように蜜峰への被害報告があり、連絡協議会で危被害防止の協議をしているが、有効的な手段がない状況にある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

水稲、畑作物、果樹の防除計画作成、実績検討などによる農産物の生産力の向上を図り、農産物の害虫駆除、植物防疫に係る活動の実施していくため、今後も継続が必要

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了